

# 浜岡原子力発電所3～5号機 排気筒改造工事における振動試験の実施について

平成 19 年 7 月 25 日

当社は、浜岡原子力発電所の耐震裕度向上工事として、目標地震動(岩盤上における地震の揺れで約1,000ガル)に基づく評価を実施し、必要な工事を順次実施しております。

[\(平成17年1月28日お知らせ済み\)](#)

この中で、3～5号機の排気筒については、地震時の揺れに対する排気筒の耐力を増すため、排気筒を囲うように、支持鉄塔を設置する工事を実施していましたが、本年5月に支持鉄塔の設置工事が終了し、現在は鉄塔塗装等の工事を実施中です。

[\(工事の概要について\)](#)

本日より、3～5号機の排気筒および支持鉄塔を振動させ、揺れ方が設計どおりとなっていることを確認する振動試験を開始しましたので、お知らせします。同試験は8月下旬まで実施する予定です。

## 排気筒振動試験の概要

### 【起振機試験】

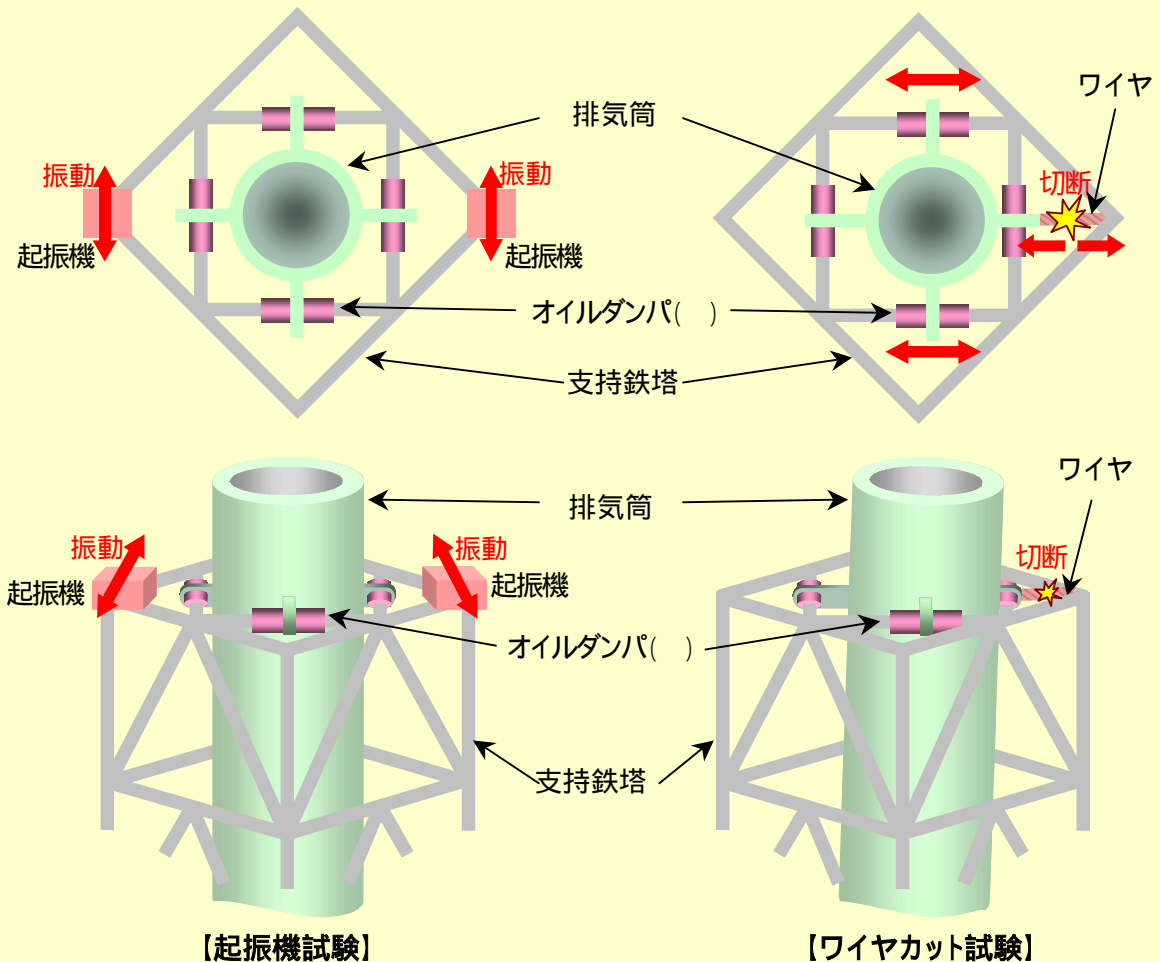
支持鉄塔に取り付けた起振機で、排気筒および支持鉄塔を揺らし、それぞれの揺れ方が設計どおりとなっていることを確認します。

### 【ワイヤカット試験】

排気筒と支持鉄塔をワイヤで引っ張り、切断させた際に発生する排気筒および支持鉄塔の揺れ方が、設計どおりとなっていることを確認します。

### 【常時微動試験】

排気筒および支持鉄塔の風による揺れ方を確認します。



排気筒と支持鉄塔では揺れ方が違うため、接続部にオイルダンパを設けて、排気筒の揺れを小さくします。

以上